



子どもの森づくり通信

(発行: NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2015年9月号)

〒144-0054 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもちました方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年も災害の多い年になりました。

台風や洪水の被害に会われた地域の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

(目次)

1. 2015年度 下期の活動について
2. 事務局からのお知らせ
 - 新・どんぐり博士の育苗講座 (2015年9月号)
 - ～拾ったどんぐりの名前は？①～

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



1. 2015年度下期の活動について

2015年度の活動も下期を迎えます。季節も本格的な秋となり、今年もどんぐりが実る季節となりました。全国の参加園においてどんぐりの種を拾う活動や植えた苗木を見に行く活動が始まります。東北でも、「東北復興グリーンウェイブ」の活動参加園に届けるどんぐり拾いの活動が行われます。「子森通信」の今月号では、活動の後半にあたり、そんな参加園の活動をサポートするいくつかの取組みをご案内します。ご活用下さい。



● 森の体験プログラムの提供「森の楽園」

幼児の自然体験と環境学習活動みとして、「森育（もりいく）」という言葉をよく目にする様になりました。「子どもの森づくり運動」の活動で訪れた森は、自然と環境が体験できる「森育」の絶好のフィールドです。事務局では、「森の楽園（らくえん）」として、森の楽しさを子どもたちに提供する様々なプログラムを用意しました。今後、ホームページにて順にご案内させていただきますので是非、ご活用下さい。

● 参加園活動情報の発信「エコプロダクツ2015」



今年も、12/10(木)～12(土)の期間、「東京ビッグサイト」で開催される国内最大の環境展「エコプロダクツ2015」に出展し、参加園の活動をご紹介させていただきます。また、今年では会場内メインステージでの「東北復興グリーンウェイブ」の活動デモンストレーションも決定しました。津波で大きな被害を被った、岩手県山田町の保育園の子どもたちが、今年の秋に拾ったどんぐりを参加園の子どもたちに直接手渡し、「どんぐりの絆」をリアル体験しようという企画です。イベントへの参加園を募集します。（詳細別紙）「エコプロダクツ展」は、活動の発表の場であると共に、事務局と参加園の皆様、そして参加園どうしの交流の場でもあります。皆様のご来場をお待ち申し上げます。（東4ホール NPO・NGOコーナー N-15）
 なお、ご協賛企業：日本郵政グループ様もご出展されます。（東6ホール 6-010）

● 参加園の交流：「全国集会＆研修会2015」



年に一度、これからのより良き保育活動のあり方について協議と情報交換を行うことを目的に全国から参加園有志が集う全国ミーティングを、下記の概要で開催します。幼児期の自然体験や環境学習講座、さらに園における防災・減災講座も実施します。

この機会に、是非ご参加下さい。

- ・日時：2016年2月23日（火）、24日（水）
- ・会場：三重県鈴鹿市白子「ホテルグリーンパーク鈴鹿」
- ・内容：①幼児期の自然体験と環境学習を考える講座（予定）
- ②危機管理講座（講師：鎌田修広氏）
- ③どんぐりの苗木植樹体験、他

2. 「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート

■ 広島県「保育所みのり愛児園」苗木を見送る活動

・日時：2015年5月14日（木）・会場：自園 ・日本郵政グループ参加者：広島緑井郵便局 玉垣局長
 りっぱな苗木に生長したどんぐりに「元気に大きく育てね」とみんなでお別れをしました。これから「みのり」の子どもたちと、どんぐりの生長を見守っていきたいと思っています。東北の皆さまのご健康を心よりお念じ申し上げます。（福島園長）



理事長先生のお話し



苗木を大事にお渡ししました。



掛け声は“おおきな～れ”。

■ 福井県「大野幼稚園」苗木を見送る活動

・日時：2015年5月18日（月）・会場：大野幼稚園ホール ・日本郵政グループ参加者：大野郵便局 堀家局長
 「苗木を見送る会」を開催し、園児たちも“願いを託すことの大事さ”に触れることができました。（藤園長）



園長先生のお話し



東北で元気に育てね～



みんなで持てば重くない！



郵便局長さん、よろしくお願ひします。

3. 事務局からのお知らせ

1) エコプロダクツ2015『「東北復興グリーンウェイ」東北のどんぐり手渡し会』参加園募集

○JP子どもの森づくり運動では、今年も国内最大の環境展「エコプロダクツ展」(東京ビッグサイト)に出展し、皆様の様々な活動をご紹介させていただきます。今年は出展企画の一環として、最終日の12/12(土)に、会場内メインステージにおいて「東北復興グリーンウェイ」のデモンストレーションを実施します。岩手県山田町の三つの保育園の園児たちが、みんなで地元の森で拾ったどんぐりを、活動に参加している幼稚園・保育園の子どもたちに手渡す「東北のどんぐり手渡し会」を実施します。

○「東北復興グリーンウェイ」が目指すことは、被災地の子どもたちと全国の子どもたちが、どんぐりを育てる活動を通じて“どんぐりの絆”で結ばれることです。今回は、参加してくれた子どもたちに、その「絆」をリアルに体験してもらおうという企画です。進行役は「どんぐりーず」のお二人。最後にみんなで、ステージの上で元気に「♪どんぐりえがお」を歌って、踊ります。現在、事務局では、上記のデモンストレーションに参加してくれる参加園を募集中です。詳細は、事務局までお問合せ下さい。ホームページにてもご案内しております。エコプロダクツ展では、企業や団体の最先端の環境への取組みが紹介されています。子どもたちの環境学習の場としても大変魅力的なスポットです。この機会にご来場下さい。*エコプロダクツ展 ⇒ <http://eco-pro.com/2015/>

2) 活動レポート動画配信のご案内

活動レポートを動画で配信する試みを始めました。

文字や写真では伝えきれなかった、子どもたちの生き生きとした動画ならではの活動風景をお送りしております。

●ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」

年4回程度、節目となる活動風景をお届けします。今回は、「東北復興グリーンウェイ」第二回植樹会のレポートです。

「子どもの森づくり運動」公式ホームページから、下記の手順でご覧になれます。

①「子どもの森づくり運動」公式ホームページ ⇒②子森チャンネル&通信 (TOP左上) ⇒③「子森チャンネル」

●日本郵政グループCSR動画

特別協賛企業「日本郵政グループ」のCSRページでも動画による活動レポートをご覧になれます。

①「子どもの森づくり運動」公式ホームページ ⇒②子森チャンネル&通信 (TOP左上) ⇒③日本郵政グループCSR動画

*現在、日本郵政株式会社のトップページからもご覧になれます。⇒<http://www.japanpost.jp/>

●新・どんぐり博士の育苗講座 (2015年9月号) ～拾ったどんぐりの名前は？①～

実りの秋。どんぐり拾いの季節となりました。すでに拾った園も多いでしょう。集めたどんぐりを見ると、細長いものや、まん丸なものいろいろありますよね。そこで今回から、拾ったどんぐりの種類が、ある程度分かるように解説してみます。どんぐり博士：河内和男（「子森ネット」森林インストラクター）



日本国内にはおおよそ20種類のどんぐりがあります。でも、皆さんが身近で拾うどんぐりは、せいぜい3、4種類です。そこで、よく拾われるどんぐりの名前と特徴を解説します。一回目の今回は、人気が高い大きくて丸いどんぐりです。地域で分けて説明します。

(1) 関東甲信越以西の地域 (関東～西日本)

①「クヌギ」この地域でまん丸で大きいどんぐりだったら、クヌギの可能性が大変高いです。カブトムシなどの昆虫が好きな樹液を出すので、木は昆虫採取にも最適です。葉は細長く、クリの木の葉に似ています。②「アベマキ」クヌギと大変に似たどんぐりに、アベマキのどんぐりがあります。どんぐりだけでは区別をつけにくいですが、木の皮(樹皮)を押してみると、堅いゴムのような弾力があります(コルク層が厚い)。瀬戸内海を囲んだ地域で、多く見られるようです。

(2) 東北以北の地域 (北日本)

①「クヌギ」東北でも南の地域と、海岸沿いなどの暖かい場所で見られます。ただ、西日本のクヌギより、どんぐりが小さい場合があり、あまり目立たないかも知れません。②「ミズナラ」寒い地域での大きいどんぐりといえばミズナラです。クヌギやアベマキほどまん丸ではないのですが、大きくて太っているので丸いどんぐりに見えます。なお、今回紹介した3種類の樹木は、全て冬に葉を落とす落葉樹です。